

ショートステムの X 線経過に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: (平成 30 年 3 月 7 日) ~ 平成 31 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 セメントレス人工股関節全置換術におけるショートステムの沈下

〔研究目的〕 Fitmore ステムは、セメントレス人工股関節全置換術に用いられる大腿骨コンポーネント (ステム) のひとつであり、長さは短く、正面から見た形状は弯曲しており、断面形状は四角形です。長さが短いことから大腿骨の骨温存が期待できるインプラントであり、短期臨床成績は安定しているとの報告はありますが、ステム沈下の頻度や、沈下とステム設置位置との関連は明らかになっていません。本研究の目的は、ステム沈下の頻度およびそれに影響を与える因子を明らかにすることです。

〔研究意義〕 Fitmore ステムのよい適応症例の選択、および詳細な手術手技の向上に有益な情報が得られます。

〔対象・研究方法〕 帝京大学医学部附属溝口病院で Fitmore ステムを用いたセメントレス人工股関節全置換術を受け、術後 6 ヶ月以上経過した 87 股の X 線画像を対象として後見的な調査を行い、ステム沈下頻度、および沈下に影響を与える因子を明らかにします。術後 1 週と術後 6 ヶ月の X 線像を基にステムの沈下を計測します。術後 1 週の X 線および CT を基にステムの髓腔内接触様式およびアライメントを調査し、沈下との関連を分析します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属溝口病院整形外科

〔個人情報の取り扱い〕 個人情報の保護に留意し、被験者のデータ等の院外での解析に際しては、匿名化・保管・破棄方法に十分配慮します。

〔その他〕 研究に参加することによる経済的な利益や医療費は発生しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学溝口病院整形外科教授 中村茂

研究分担者: 帝京大学溝口病院整形外科助教 金崎志帆

住所: TEL:044-844-3333(代表) [内線 3253 整形外科医局]